

別 表

別 表

1	重要水防箇所（湧水町関係抜粋）	・ ・ ・ ・ ・	1
2	水防箇所（湧水町関係抜粋）	・ ・ ・ ・ ・	4
3	交通途絶予想箇所図	・ ・ ・ ・ ・	5
4	雨量観測所一覧表	・ ・ ・ ・ ・	5
5	水位観測所一覧表	・ ・ ・ ・ ・	5
6	風向風速観測所一覧表（近傍観測所）	・ ・ ・ ・ ・	5
7	災害時防災関係機関一覧表	・ ・ ・ ・ ・	6
8	非常無線通信取扱機関一覧表	・ ・ ・ ・ ・	6
9	水防倉庫及び防災ステーション一覧表	・ ・ ・ ・ ・	7
10	警報・注意報発表基準	・ ・ ・ ・ ・	8
11	水閘門等の配置計画（基準）	・ ・ ・ ・ ・	9

（参考）水防工法の参考

重要水防箇所（湧水町関係抜粋）

川内川重要水防箇所一覧（A）

別表1

地先名	岸の別	位 置	延 長	備 考	水防工法
稲葉崎	右 岸	81 K 000 ～ 82 K 000-20	750m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
恒 次	左 岸	83 K 400+180 ～ 83 K 720	140m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
恒 次	左 岸	86 K 400- 40 ～ 86 K 400	40m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
木 場	左 岸	87 K 100 ～ 87 K 175	75m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）B、堤体漏水A、基礎地盤漏水B）	積土俵工 シート張工 月の輪工
木 場	左 岸	87 K 175 ～ 87 K 400	206m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）B、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
木 場	左 岸	87 K 400 ～ 87 K 500	84m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）B、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
北 方	右 岸	88 K 000 ～ 88 K 200	287m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水B）	積土俵工 シート張工
北 方	右 岸	88 K 200 ～ 88 K 300	99m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
北 方	右 岸	88 K 300 ～ 88 K 400	99m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）B、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
北 方	右 岸	88 K 600 ～ 88 K 700	113m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）B、堤体漏水A、基礎地盤漏水B）	積土俵工 シート張工 月の輪工
北 方	右 岸	88 K 700 ～ 88 K 800	114m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A、基礎地盤漏水B）	積土俵工 シート張工 月の輪工
北 方	右 岸	88 K 800 ～ 88 K 900	103m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水B、基礎地盤漏水B）	積土俵工 シート張工 月の輪工
北 方	右 岸	88 K 900 ～ 89 K 000+60	175m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
木 場	左 岸	89 K 400 ～ 89 K 800+70	500m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 添	左 岸	91 K 800 ～ 92 K 000	123m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 添	左 岸	92 K 200 ～ 93 K 100	1,100m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 西	右 岸	93 K 200 ～ 93 K 400-30	175m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 添	左 岸	93 K 300 ～ 93 K 900	396m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 西	右 岸	93 K 400+40 ～ 94 K 800	1,155m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 添	左 岸	93 K 900 ～ 95 K 400	1,445m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水B）	積土俵工 シート張工
川 西	右 岸	95 K 000 ～ 95 K 700	678m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
川 西	左 岸	95 K 400 ～ 95 K 600	240m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
中津川	左 岸	95 K 600 ～ 96 K 100	468m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 西	右 岸	95 K 700 ～ 95 K 900	204m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 西	右 岸	95 K 900 ～ 96 K 200	288m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、基礎地盤漏水B）	積土俵工 月の輪工
川 西	右 岸	96 K 200 ～ 97 K 000	877m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
中津川	左 岸	96 K 300 ～ 96 K 600	300m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
中津川	左 岸	96 K 600 ～ 96 K 800	190m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工 月の輪工

川内川重要水防箇所一覧（A）

地先名	岸の別	位 置	延 長	備 考	水防工法
中津川	左 岸	96 K 800 ～ 96 K 800+100	100m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A、基礎地盤漏水A）	積土俵工 シート張工 月の輪工
中津川	左 岸	96 K 800+100～97 K 200+175	290m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 西	右 岸	97 K 000 ～ 97 K 200+13.9	210m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
川 西	右 岸	97 K 200+13.9～97 K 675+0.5	449m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
中津川	左 岸	97 K 200+175 ～ 97 K 400	27m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
鶴 丸	左 岸	97 K 400 ～ 97 K 500	100m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水B）	積土俵工 シート張工
鶴 丸	左 岸	97 K 500 ～ 97 K 700	204m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
鶴 丸	左 岸	97 K 700 ～ 97 K 900	204m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工 月の輪工
般若寺	右 岸	97 K 800+10 ～ 98 K 700	1, 195m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
鶴 丸	左 岸	97 K 900 ～ 98 K 000	81m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水A）	積土俵工 シート張工
鶴 丸	左 岸	98 K 000 ～ 98 K 900	928m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）A、堤体漏水B）	積土俵工 シート張工
般若寺	右 岸	98 K 700 ～ 98 K 800+130	298m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
鶴 丸	左 岸	98 K 900 ～ 99 K 600	705m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工
般若寺	右 岸	99 K 000+150 ～ 99 K 200+50	80m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）A）	積土俵工

川内川重要水防箇所一覧（Ｂ）

地先名	岸の別	位 置	延 長	備 考	水防工法
恒 次	左 岸	81 K 200+160 ～ 82 K 000+20	765m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
稲葉崎	右 岸	82 K 000-20 ～ 82 K 100	103m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
稲葉崎	右 岸	82 K 100 ～ 82 K 700	659m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）Ｂ、基礎地盤漏水Ｂ）	積土俵工 月の輪工
恒 次	左 岸	82 K 200-20 ～ 83 K 000	610m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
稲葉崎	右 岸	82 K 700 ～ 83 K 200	518m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
田尾原	右 岸	83 K 680 ～ 85 K 200	1,587m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
恒 次	左 岸	83 K 600+120 ～ 86 K 400-40	2,320m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
北 方	右 岸	86 K 200 ～ 86 K 900	257m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
米 永	左 岸	86 K 600+90 ～ 87 K 000	410m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
北 方	右 岸	86 K 900 ～ 87 K 100	185m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）Ｂ、堤体漏水Ｂ）	積土俵工 シート張工
木 場	左 岸	87 K 000 ～ 87 K 100	94m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
北 方	右 岸	87 K 100 ～ 87 K 800-30	588m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
木 場	左 岸	87 K 500 ～ 88 K 800	1,130m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
北 方	右 岸	87 K 900 ～ 88 K 000	82m	堤体から漏水が発生する恐れあり （堤体漏水Ｂ）	シート張工
北 方	右 岸	88 K 400 ～ 88 K 500	109m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）Ｂ、堤体漏水Ｂ）	積土俵工 シート張工
北 方	右 岸	88 K 500 ～ 88 K 600	109m	堤体から漏水が発生する恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （堤体漏水Ｂ、基礎地盤漏水Ｂ）	シート張工 月の輪工
北 方	右 岸	89 K 000+60 ～ 89 K 500	430m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
木 場	左 岸	89 K 100 ～ 89 K 400	333m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
北 方	右 岸	89 K 500 ～ 90 K 100	615m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 堤体から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）Ｂ、堤体漏水Ｂ）	積土俵工 シート張工
北 方	右 岸	90 K 100 ～ 90 K 200+110	215m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
川 添	左 岸	91 K 500 ～ 91 K 800	247m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
川 西	右 岸	92 K 500 ～ 93 K 000	296m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
川 添	左 岸	93 K 100 ～ 93 K 300	200m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
中津川	左 岸	96 K 100 ～ 96 K 300	204m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
川 西	右 岸	97 K 675+0.5 ～ 97 K 800-15	199m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
般若寺	右 岸	97 K 800-15 ～ 97 K 800+10	25	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工

綿打川重要水防箇所一覧（Ｂ）

地先名	岸の別	位 置	延 長	備 考	水防工法
米 永	左 岸	0 K 000 ～ 0 K 600	515m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工
米 永	右 岸	0 K 000 ～ 0 K 200	200m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり 基礎地盤から漏水が発生する恐れあり （越水（溢水）Ｂ、基礎地盤漏水Ｂ）	積土俵工 月の輪工
米 永	右 岸	0 K 200 ～ 0 K 600	382m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり （越水（溢水）Ｂ）	積土俵工

川内川重要水防箇所一覧表（重点区間）

地先名	岸の別	位 置	延 長	備 考	水防工法
北 方	右 岸	86 K 600 ～ 89 K 200	2,440m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり (88k000～88k300、88k700～89k000+60：越水（溢水）A、86k600～87k800-30、87k900～88k000、88k400～88k600、89k000+60～89k200：越水（溢水）B) (88k200～88k400、88k600～88k800：堤体漏水A、88k000～88k200、88k400～88k600：堤体漏水B) (88k500～88k900：基礎地盤漏水B)	積土俵工 シート張工 月の輪工
橋 町	左 岸	87 K 400+60 ～ 88 K 800	1,075m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり (越水（溢水）B)	積土俵工
本 城	左 岸	89 K 600+100 ～ 89 K 600+191	91m	河積不足のため、越水（溢水）の恐れあり (越水（溢水）A)	積土俵工
川 添	左 岸	93 K 400 ～ 94 K 300	1,000m	無堤地区のため、越水（溢水）の恐れあり (越水（溢水）A)	シート張工

川内川重要水防箇所一覧表（A）

（工作物及び陸間）

施設名	地先名	位 置	備考（対策工等）
肥薩線・川内川橋梁	左岸：始良郡湧水町木場 右岸：始良郡湧水町北方	89 K 000+55	(桁下高不足A)
永山橋	左岸：始良郡湧水町矢立 右岸：始良郡湧水町永山	93 K 400+30	(桁下高不足A)
柿木橋	左岸：始良郡湧水町柿木 右岸：始良郡湧水町吉松	95 K 600+40	(桁下高不足A)
吉松橋	左岸：始良郡湧水町川津川 右岸：始良郡吉松町吉松	96 K 200+160	(桁下高不足A)
吉都線第2川内川橋梁	左岸：始良郡湧水町鶴丸 右岸：始良郡湧水町川西	97 K 600+205	(桁下高不足A)
中鶴橋	左岸：始良郡湧水町鶴丸 右岸：始良郡湧水町川西	97 K 800+65	(桁下高不足A)
鶴丸橋	左岸：始良郡湧水町鶴丸 右岸：始良郡湧水町般若寺	99 K 000+65	(桁下高不足A)

川内川重要水防箇所一覧表（B）

（工作物及び陸間）

施設名	地先名	位 置	備考（対策工等）
勝栗大橋	左岸：始良郡湧水町米永 右岸：始良郡湧水町北方	85 K 400+85	(桁下高不足B)
栗野橋	左岸：始良郡湧水町木場 右岸：始良郡湧水町北方	87 K 800+85	(桁下高不足B)
舟渡橋	左岸：始良郡湧水町木場 右岸：始良郡湧水町北方	88 K 800+100	(桁下高不足B)
北方橋	左岸：始良郡湧水町木場 右岸：始良郡湧水町北方	90 K 200+200	(桁下高不足B)
栗野発電所管理橋	左岸：始良郡湧水町木場 右岸：始良郡湧水町北方	91 K 400+100	(桁下高不足B)
吉松歩道橋	左岸：始良郡湧水町中津川 右岸：始良郡湧水町吉松	96 K 200+150	(桁下高不足B)

水防箇所（湧水町関係抜粋）

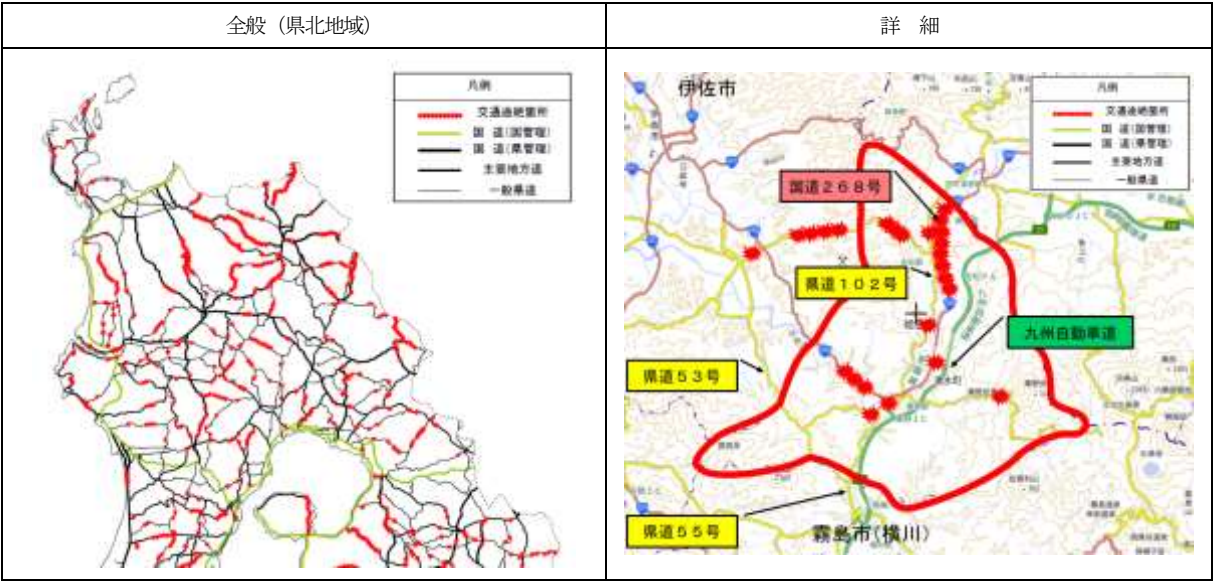
（県管理分）

別表2

施設名	河川名	予想される災害	同左区域	同延長	代替路線名	備 考
国道268号	川内川	冠 水	湧水町田尾原	1,000	菱刈横川線	A
国道268号	川内川	冠 水	湧水町川添	4,300	九州縦貫道	A
栗野加治木線	川内川	冠 水	湧水町木場	400	町道	A
木場吉松えびの線	川内川	冠 水	湧水町中野	200	国道268号	A
吉松えびの線	な し	落 石	湧水町北方	200	国道268号	C
栗野停車場えびの高原線	な し	落 石	湧水町日添	4,000	なし	B
栗野停車場えびの高原線	な し	落 石	湧水町栗野岳	200	町道	C
幸田栗野線	綿打川	冠 水	湧水町米永	200	町道	A
川西菱刈線	な し	落 石	湧水町川西	2,500	町道	B
国道268号	な し	落 石	湧水町川添	106	なし	A

交通途絶予想箇所図

別表3



雨量観測所一覧表

別表4

河川名	観測所名（登録名）	位 置	雨量計種別		管理者（所属）	備 考
			自 記	テレメータ		
川内川	県湧水庁舎	湧水町米永		○	鹿児島県河川課長	IS
湯谷川	栗野岳	湧水町川添木原		○	鶴田ダム管理所長	
川内川	栗野	湧水町木場	○	○	川内川河川事務所長	
川内川	J R九州吉松保線区	湧水町川西	○		J R九州吉松保線区長	
—	木原牧場	湧水町川添		○	鹿児島県砂防課長	LS
—	栗野牧場	湧水町木場		○		
—	栗野岳	湧水町木場		○		
—	湧水町吉松庁舎（吉松町）	湧水町中津川		○		
参考事項	I S：H 8 ～H 1 0 『鹿児島県河川情報システム』による整備（テレメータ化を含む）。 L S：H 1 0 ～H 1 2 『鹿児島県土砂災害発生予測情報システム』による整備					

水位観測所一覧表

別表5

河川名	観測所名	位 置	水位（m）				水位計種 別	管理者（所属）
			平 常	水防団待機	氾濫注意	氾濫危険		
川内川	吉 松	湧水町川西	0.63	4.60	5.50	—	自 記・テレメータ	川内川河川事務所
	栗野橋	湧水町木場	0.09	3.80	4.40	5.80		
	広田川橋門	湧水町恒次	—	—	—	—	危 機 管 理 型	川内川河川（国道事務所）
	轟 橋	湧水町恒次下水流	—	—	—	—		
	田尾原第一橋門	湧水町北方字本村	—	—	—	—		
	綿打川第一橋門	湧水町米永	—	—	—	—		
	舟渡橋	湧水町本郷字龜沢	—	—	—	—		
	永山橋	湧水町川添字小原	—	—	—	—		
	宇都川橋門	湧水町川西	—	—	—	—		
	中瀬橋	湧水町鶴丸字下水流	—	—	—	—		
	鶴丸水門	湧水町鶴丸	—	—	—	—		
	鶴丸橋	湧水町鶴丸字八王	—	—	—	—		
	鶴丸用排水橋門	湧水町鶴丸	—	—	—	—		

風向風速観測所一覧表（近傍観測所）

別表6

設置場所	住 所	管 理 者
大口地域気象観測所	伊佐市大口原田	鹿児島県地方気象台長
溝辺地域気象観測所	霧島市溝辺町麓	

災害時防災関係機関一覧表

別表 7

種 別	名 称	連絡先	位 置
県 関 係	鹿児島県庁	099 (286) 2111	鹿児島市鴨池新町 10-1
	鹿児島県土木部 監理課	099 (286) 3488	
		河川課	
		砂防課	
		道路建設課	
		道路維持課	
		港湾空港課	
	建築課	099 (286) 3735	
	危機管理防災局 災害対策課	099 (286) 2276	
国交省関係	総務部 広報課	099 (286) 2095	薩摩川内市東大小路町 20-2
	九州地方整備局 川内川河川事務所	0996 (22) 3271	
	菱刈出張所	0995 (26) 2459	
気象台関係	鹿児島地方気象台	鶴田ダム管理所	伊佐市菱刈川南宇湯田古川 78-1
		(現業)	薩摩郡さつま町神子 3988-2
	(防災)	099 (250) 9913	鹿児島市東郡元町 4-1
自衛隊関係	陸上自衛隊 第八師団司令部	099 (250) 9919	熊本市八影水谷 2-17-1
	国分駐屯部隊 第 1 2 普通科連隊	0963 (43) 代 3141~3148	
	えびの駐屯部隊 第 2 4 普通科連隊	0995 (46) 0350	
県支庁出先	始良伊佐連絡協議会	0984 (33) 3904	霧島市国分福島 2-4-14
地域振興局	始良・伊佐地域振興局 建設部	0984 (33) 3904	えびの市大字大河平 4455-1
水 防 管 理 団 体	始良伊佐連絡協議会	0995 (63) 8106	始良市加治木町諏訪町 12
	始良・伊佐地域振興局 建設部	0995 (63) 8351	始良市加治木町諏訪町 12
	えびの市	0995 (23) 1311	宮崎県えびの市大字栗下 1292
	伊佐市	0984 (35) 1111、1119	伊佐市大口里 1888
	さつま町	0995 (23) 1311	薩摩郡さつま町宮之城屋地 1565-2
	湧水町	0996 (53) 1111	湧水町木場 222
	霧島市	0995 (74) 3111	霧島市国分中央三丁目 45-1
		0995 (45) 5111	

非常無線通信取扱機関一覧表

別表 8

免 許 人	機関名 (受付局)	電話・FAX	無線局種別	主な通信先		
				全 国	九 州	県 内
鹿 児 島 県	鹿児島県庁	099 (286) 2111 (286) 2256 (286) 2251 (286) 2265 FAX (286) 5519 (286) 5520	TC(地球局) FX(固定局) FB(基地局) MO(移動局)	○	○	○
	始良・伊佐地域振興局 総務企画部	0995 (63) 8106 FAX (63) 8108 (63) 8345	FX(固定局) MO(移動局)			○
	保健福祉環境部 大口支所	0995 (23) 5103 FAX (23) 5124 (23) 5166	FX(固定局) MO(移動局)			○
	湧水町役場	0995 (74) 3111 FAX (74) 4249	TC(地球局)	○	○	○
警 察 庁	伊佐湧水警察署	0995 (22) 0110	FX(固定局) ML(移動局)	○	○	○
国土交通省	川内川河川事務所	0996 (22) 3271	FX(固定局)	○	○	○
	菱刈出張所	0995 (26) 2459	FB(基地局)			
		京町出張所	ML(移動局)			
J R 九 州	J R九州鹿児島支店	099 (251) 8934	FB(基地局) ML(移動局)		○	○
九 州 電 力	霧島営業所	0995 (45) 9600	FX(固定局) ML(移動局)			○

水防倉庫及び防災ステーション一覧表

1 国管理水防倉庫

別表9

関係地域振興局	河川・海岸名	左右岸の名	位 置	管 理 者	備蓄主要資器材 (在庫数量)								
					土のう むしろ 俵かます	なわ玉	坑 木	スコップ ツルハシ	鎌 鋸	掛矢蛸槌	照明灯	その他	
伊佐市駐在	川内川	左	伊佐市菱刈川南 字湯田古川 78-1	川内川 河川事務所 所 長	2,800		17	20	7	1	1	ビニールシート 20 ロープ 100m 鉄線 10 kg ナタ 1	
		左	伊佐市菱刈川南		1,800	2	40	3	4	2	ナタ 2 蛸手 2 鉄線 50kg		

2 市町村管理防災ステーション

関係地域振興局	河川・海岸名	左右岸の名	位 置	管 理 者	備蓄主要資器材 (在庫数量)							
					土のう むしろ 俵かます	なわ玉	坑 木	スコップ ツルハシ	鎌 鋸	掛矢蛸槌	照明灯	その他
始良伊佐	天降川	右	湧水町川西コミュニティ防災センター内	湧水町長	15,000			23		3	2	山鋸3 オノ2 ナタ5
		左	湧水町中津川機械センター内				100					
		左	湧水町木場		10,000		300			1	船1 ロープ1	
	川内川	左	湧水町木場防災ステーション内		2,000	50	100	20	10	10	10	ビニールシート10 ペンチ10 鉄線50 kg

3 県水防備蓄資器材一覧表

関係地域振興局	河川・海岸名	左右岸の名	位 置	管 理 者	備蓄主要資器材 (在庫数量)							
					土のう むしろ 俵かます	なわ玉	坑 木	スコップ ツルハシ	鎌 鋸	掛矢蛸槌	照明灯	その他
始良・伊佐	川内川	左	湧水町米永	始良・伊佐 地域振興局 建 設 部 長	4,000	12	200	10	2	1	3	オイル吸着剤 6 箱 ゴムボート 1

警報・注意報発表基準

別表１０

湧水町	府県予報区			鹿児島県
	一次細分区域			薩摩地方
	市町村等をまとめた地域			川薩・始良
警 報	大雨	(浸 水 害)	表面雨量指数基準	2 5
		(土砂災害)	土壌雨量指数基準	1 7 0
	洪水	水	流域雨量指数基準	
			複合基準*1	川内川流域 = (1 3、2 7. 8)
			指定河川洪水予報による基準	川内川上流部 [栗野橋]
	暴 風	風	平均風速	2 0 %
	暴 風 雪	雪	平均風速	2 0 % 雪を伴う
	大 雪	雪	降雪の深さ	1 2 時間降雪の深さ 1 5 cm
	波 浪	浪	有義波高	
	高 潮	潮	潮 位	
注 意 報	大雨		表面雨量指数基準	1 4
			土壌雨量指数基準	1 2 0
	洪水	水	流域雨量指数基準	
			複合基準*1	川内川流域 = (7、2 5)
			指定河川洪水予報による基準	川内川上流部 [栗野橋]
	強 風	風	平均風速	1 2 %
	風 雪	雪	平均風速	1 2 % 雪を伴う
	大 雪	雪	降雪の深さ	1 2 時間降雪の深さ 5 cm
	波 浪	浪	有義波高	
	高 潮	潮	潮 位	
	雷		落雷等により被害が予想される場合	
	融 雪	雪		
	濃 霧	霧	視 程	1 0 0 m
	乾 燥	燥	最小湿度 4 0 %で、実効湿度 6 5 %	
	な だ れ	れ	積雪の深さ 1 0 0 cm 以上で次のいずれか 1、気温 3℃以上の好天 2、低気圧等による降雨 3、降雪の深さ 3 0 cm 以上	
低 温	温	夏期：平年より平均気温が 4℃以上低い日が 3 日続いた後、さらに 2 日以上続くと予想される場合 冬期：海岸地方で最低気温が－ 4℃以下、内陸部で最低気温が－ 7℃以下		
霜		1 1 月 3 0 日までの早霜、3 月 1 0 日以降の晩霜：最低気温 4℃以下		
着 氷 ・ 着 雪		大雪注意報・警報の条件下で、気温－ 2℃～ 2℃、湿度 9 0 %以上		
記 録 的 短 時 間 大 雨 情 報			1 時間雨量	1 2 0 mm

*1（表面雨量指数、流域雨量指数）の組み合わせによる基準値を表しています。

水閘門等の配置計画（基準）

別表 1 1

番号	地域／河川			管理者／水門等	担当分団	備 考	
						操作員	代理人
1	栗 野	川 内 川	国	広田第1樋門	轟 分 団		
2	栗 野	川 内 川	国	広田第2樋門	轟 分 団		
3	栗 野	川 内 川	国	稲葉崎第1樋門	轟 分 団		
4	栗 野	川 内 川	国	広田川樋門	轟 分 団		
5	栗 野	川 内 川	国	稲葉崎第2樋門	轟 分 団		
6	栗 野	川 内 川	国	稲葉崎第3樋門	轟 分 団		
7	栗 野	川 内 川	国	村内樋門	幸 田 分 団		
8	栗 野	川 内 川	国	湯谷川水門	上 場 分 団		
9	栗 野	川 内 川	国	恒次樋門	轟 分 団		
10	栗 野	川 内 川	国	田尾原第1樋管	北 方 分 団		
11	栗 野	川 内 川	国	二渡樋門	轟 分 団		
12	栗 野	川 内 川	国	田尾原樋管	北 方 分 団		
13	栗 野	川 内 川	国	北方排水樋管	老 竹 分 団		
14	栗 野	川 内 川	国	栗野樋門	栗野中央分団		
15	栗 野	川 内 川	国	丸池川排水機場	栗野中央分団		
16	栗 野	川 内 川	町	丸池川排水機場	栗野中央分団		
17	栗 野	川 内 川	国	丸池川排水機場	栗野中央分団		
18	栗 野	川 内 川	国	北方排水樋門	北 方 分 団		
19	栗 野	川 内 川	国	北方樋管	北 方 分 団		
20	栗 野	川 内 川	国	竹下川水門	北 方 分 団		
21	栗 野	川 内 川	国	綿打川第1樋門	米 永 分 団		
22	栗 野	川 内 川	国	綿打川第2樋門	米 永 分 団		
23	栗 野	川 内 川	国	綿打川第3樋門	米 永 分 団		
24	吉 松	川 内 川	国	永山第3樋管	川 西 分 団		
25	吉 松	川 内 川	国	川添樋管	川 添 分 団		
26	吉 松	川 内 川	国	宇都川樋門	川 西 分 団		
27	吉 松	川 内 川	国	中津川樋門	川 添 分 団		
28	吉 松	川 内 川	国	西ノ原樋管	川 西 分 団		
29	吉 松	川 内 川	国	市原第1樋門	川 西 分 団		
30	吉 松	川 内 川	国	市原第2樋門	川 西 分 団		
31	吉 松	川 内 川	国	吉松排水樋管	中津川分団		
32	吉 松	川 内 川	国	川西排水樋門	吉松中央分団		
33	吉 松	川 内 川	国	川西樋門	吉松中央分団		
34	吉 松	川 内 川	国	竹下排水樋管	中津川分団		
35	吉 松	川 内 川	国	竹下排水機場	中津川分団		
36	吉 松	川 内 川	国	原口樋門	鶴 丸 分 団		
37	吉 松	川 内 川	国	中野樋門	般若寺分団		
38	吉 松	川 内 川	国	鶴丸用排水樋門	鶴 丸 分 団		
39	吉 松	川 内 川	国	鶴丸水門	鶴 丸 分 団		
40	吉 松	桶 寄 川	県	川添樋門第1号	川 添 分 団		
41	吉 松	桶 寄 川	県	川添樋門第2号	川 添 分 団		
42	吉 松	桶 寄 川	県	川添樋門第3号	川 添 分 団		
43	吉 松	桶 寄 川	県	川添樋門第4号	川 添 分 団		
44	吉 松	桶 寄 川	県	川添樋門第5号	川 添 分 団		
45	吉 松	桶 寄 川	県	川添樋門第6号	川 添 分 団		
46	吉 松	桶 寄 川	町	竹中排水機場	川 添 分 団		
47	吉 松	桶 寄 川	町	門前排水機場	川 添 分 団		
48	栗 野	川 内 川	町	原田招扉	長 谷 分 団		
49	栗 野	川 内 川	町	塔ノ原第1樋管	長 谷 分 団		
50	栗 野	湯 谷 川	県	湯谷川原田樋管	長 谷 分 団		
51	吉 松	川 内 川	町	吉松排水樋管内水対策水中ポンプ	中津川分団		
52	吉 松	山下須屋川	町	般若寺陸閘門内水対策水中ポンプ	般若寺分団		

※ 水閘門等の操作員、代理人は別に示す。

水防工法の参考

1 全 般

堤防は、構造規模や施工性、経済性および材料調達・復旧の容易さ等から、盛土（土堤）を基本としています。

一方で、洗掘、越水に対して弱く、堤体内部の細部構造を把握することが難しいことや材料や施工の不均一性から、水ミチや空隙を内在している可能性があります。

このようなことから、洪水時には、河川水位の上昇や流水の作用により様々な被害形態を発生させます。したがって、被害の形態に応じた対策が必要になります。

堤防の被害の形態	対 策
	河川水位が上昇し、堤防の上面を越えて溢れ出した状態を「水があふれ（越水・溢水）」と呼びます。 溢れ出した水が堤防上面や居住地側斜面を削り、決壊する恐れがあります。水が溢れないよう、止水する対策が必要です。
	河川水位が上昇し居住地側との水位差が大きくなることにより、堤防又は基礎部を通った浸透水が地表に漏れ出した状態を「漏水」と呼びます。 漏水量の増加により堤防内の土砂が流出し、決壊する恐れがあります。漏水量を増加させないよう、川側・居住地側の水位差を小さくする対策が必要です。
	激しい川の流れにより、堤防の川側が削り取られた状態を「深掘れ（洗掘）」と呼びます。 特に築堤部で深掘れが進むと、堤防が決壊し、甚大な被害が発生する恐れがあります。深掘れが進行しないよう、堤防斜面を保護する対策が必要です。
	激しい川の流れや降雨の影響で堤防の一部が崩れた状態を「斜面の崩れ（崩壊）」と呼びます。 水位があまり高くない状態でも降雨等により斜面の崩れが起る恐れがあります。居住地側の崩れでは失われた部分を直接充填する。川側では反対の居住地側を補充する対策が必要です。
	河川の水圧や堤防内の浸透水等の影響で堤防が変形し、ひび割れが発生した状態を「亀裂」と呼びます。 亀裂が進行し決壊する恐れがあります。亀裂が広がらないよう、被災箇所を縫い合わせる対策が必要です。

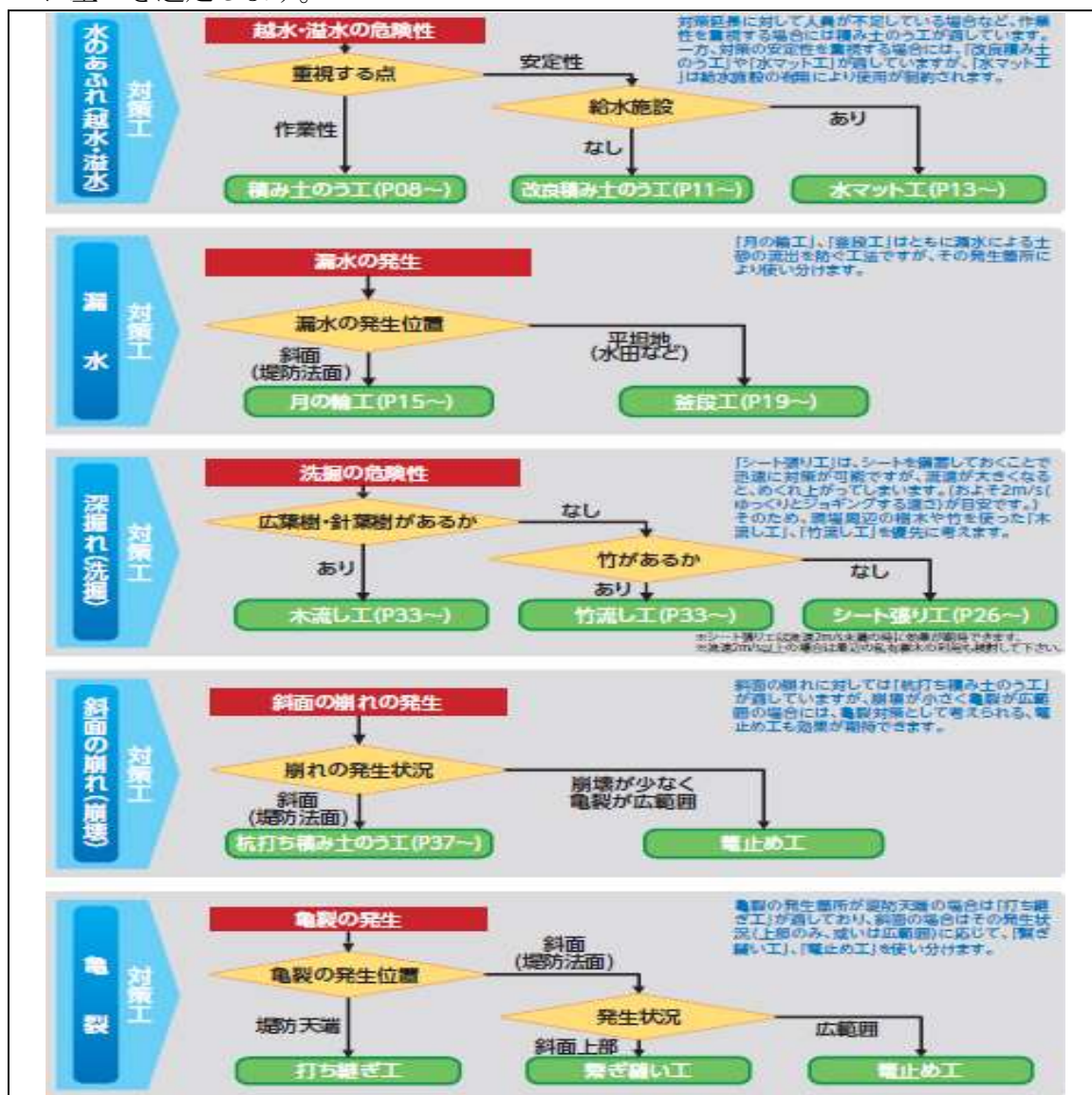
2 水防工法の選定

(1) 水防工法の一例



(2) 工法選定

水防工法は、被害の状況や現場と地形、資機材の有無を考慮し、以下のようなフローに基づき選定します。



※ 参考文献 水防技術研修テキスト (国土交通省 中部地方整備局)